おしゃべりじゃ～なる

女性の目で見た地域情報紙
編集と発行　冨田栄子＆上田真由美
埼玉県鳩ケ谷市桜町2-9-5
☎(0482)85-6208
発行日　3,5,7,10,12月の年5回
発行部数　3,000部（無料配布）

「ふるさと創生」一億円の夢いろいろ

鳩ケ谷にも「一億円がやってくる」
全国の市町村に配られる「ふるさと創生資金」の使い道について、街の声を聞いてみました。
――この一億円、あなたならどう使う？――

鳩ケ谷市もふるさと創生資金ゲーム・世界最大の金塊を買って、話題づくりに効果を上げているとか。この「ふるさと交付金」をめぐり、すでに情報が飛び交っている。

鳩ケ谷市もふるさと創生交付金一億円を「ふるさとづくり事業基金」として積み、広く市民参加を呼びかける計画だ。

羽鳥博行企画審議室長の話によれば「ふるさと事業推進委員会（仮称）を設け、

広く市民の参加を

平成元年度になるべく新しい鳩ケ谷のふるさと像を作るため、文化・環境の充実、将来につながる事業のために一億円が必要だという。

企画審議室にはアイデアが山積みの状態。市民からの提案は、

市町村もいくつかあるが、とりあえず基金に積み立て利子を運用して事業を考えようというところが多いと聞く。

鳩ケ谷市の場合は、人口の割に財政力が弱く、

様々な企業のアイデア売り込みも盛んだが、「変な先入観がえるのも・・」とダイレクトメールは慎重だ。

「公主導ではなく、市民が自分たちの町として、直接かかわっていくことが鳩ケ谷の活性化につながる。なくさんの市民のアイデアを」といっている。

街の声をひろってみた。

東京に通勤しているサラリーマン氏「シンボルタワーがいいね。あれが鳩ケ谷のランドマークなんてネ。富士山もサンシャインも遮望道路も一望できる新名所に」「ドカッと経済。ビジネスなんてどうっ」とOL。八百屋のおじさんは「子どもの頃のはとがや城、コンサート・映画・芝居などのできる市民会館、人材育成から大型デパートの誘致。話題に鯉を泳がそう・日光例幣使道の大名行列の大イベント、懸賞金つきのアイデア募集など、一億円の夢いろいろ。

自由で壮大な発想で、だれもが鳩ケ谷市民であることを誇れるような、そんなふるさとづくりを期待したい。

「ふるさと交付金」をめぐり

鳩ケ谷市の場合は、国からの金ゲーム・世界最大の金塊を買って、話題づくりに効果を上げているとか。この「ふるさと交付金」をめぐり、すでに情報が飛び交っている。

鳩ケ谷市もふるさと創生交付金一億円を「ふるさとづくり事業基金」として積み、広く市民参加を呼びかける計画だ。

羽鳥博行企画審議室長の話によれば「ふるさと事業推進委員会（仮称）を設け、

市町村もいくつかあるが、とりあえず基金に積み立て利子を運用して事業を考えようというところが多いと聞く。

鳩ケ谷市の場合は、人口の割に財政力が弱く、

様々な企業のアイデア売り込みも盛んだが、「変な先入観がえるのも・・」とダイレクトメールは慎重だ。

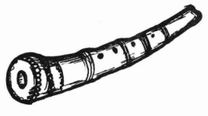
「公主導ではなく、市民が自分たちの町として、直接かかわっていくことが鳩ケ谷の活性化につながる。なくさんの市民のアイデアを」といっている。

街の声をひろってみた。

東京に通勤しているサラリーマン氏「シンボルタワーがいいね。あれが鳩ケ谷のランドマークなんてネ。富士山もサンシャインも遮望道路も一望できる新名所に」「ドカッと経済。ビジネスなんてどうっ」とOL。八百屋のおじさんは「子どもの頃のはとがや城、コンサート・映画・芝居などのできる市民会館、人材育成から大型デパートの誘致。話題に鯉を泳がそう・日光例幣使道の大名行列の大イベント、懸賞金つきのアイデア募集など、一億円の夢いろいろ。

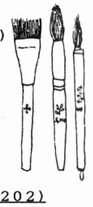
自由で壮大な発想で、だれもが鳩ケ谷市民であることを誇れるような、そんなふるさとづくりを期待したい。

前の「おしゃべりレポート」のスーパーめぐりの記事がたいへんおもしろかった♣あの値段の比較を持って買物に行ったらもったいない。あれを読んだから一つ一つの品物の値段に気をつけるようになったという人などの人もあの企画を続けてやってほしいという♣やっぱり主婦は生活に密着した身近な情報を欲しがっているということを痛感した♣アンケートや値段調べは時間がかかり、私たち二人にはかなりの負担にはなるができるだけ要望には答えたい♣消費税が実施されてから二ヶ月、主婦はますます賢い買物法を強いられている。いままで、私たち主婦の主婦のミニコミ紙」の出番！♣応援してくれる人も増えてきた。しかし、実力実績がないと悲しいもので「町会でお金を貰って作ってるの」「スポンサーは誰？」♣微力だけれど、私たちはいつも自由で楽しく、そして、めざすは個性的な「女の新聞」♣発行部数はたとえミニでも主婦パワーでがんばります。

琴古流・都山流　各派尺八製作・販売

(株)竹治尺八工房
菅井竹治
尺八雅号（淡治）
〒334 埼玉県鳩ヶ谷市桜町1－11－32
電話 0482－81－4898代

共同石油 特約店

㈲武南石油
代表取締役 稲垣利夫
第一サービスステーション 桜町二丁目 ☎83-1218
第二サービスステーション 国道122号レストランさと前 ☎82-0966

書道…生涯学習
場所＊福祉センター内（直接どうぞ！）
日時＊月3回　木曜日（午前10：00～12：00）
会費＊月千円・・・（これが魅力！）
メニュー＊基本から太字・小筆・硬筆
現況＊30代～80代の方々が楽しく
苦しみながら筆をとっています。
ぼけ予防、オバタリアン症候群の予防に最適！
いまから、始めましょう！

鳩ケ谷書道クラブ　問い合わせ先　栗原（TEL 83－6202）

いい！いい！ネットワーキング

第4回

サークルシリーズ

「しなやかに美しく『ロータス・ヨーガクラブ』」

同じ歳なのに魅力的で若々しい人がいる。逆に老け込んで見える人もいる。見た目だけで判断するわけではないけれどなぜだろう？その差は一体どこにあるのだろう。年齢は女性のどこに、どのように現れてしまうのか。そして、いつまでも若々しいためにはどうしたらいいのだろう。

イキイキ・ネットワーキング第四回は『ロータス・ヨーガクラブ』へ。このクラブは昭和六十一年に、みのり幼稚園を借りて発足、六十三年から青少年会館の第一体育室（又は柔道室）で毎週水曜・土曜日の午前十時～十一時三十分まで練習をしている。

平均年齢、自称二十ワン歳のグループです。カラフルなレオタード黒いタイツ、しなやかな体はとても美麗で、驚くほどの若々しさです。本当の年齢を聞いたらビックリ。とても信じられない！コブラのポーズ、赤ちゃんのポーズ、ハトのポーズ、ヒトのポーズなど先生の優しく、それでいてキビキビした声がみんなをヨーガの世界へ導く。

先生を紹介しましょう。

鈴木すみ子さん。ご主人の転勤で、海外生活十年、アメリカなどでヨーガと出会う。アメリカナイズされたセンスで、生徒にも名まえで呼び変える。あっ美人にもする。

協会認定講師、国際ヨーガ指導者資格会員でもある。そこで笠原さんから先生についてちょっとフォーカスできる範囲でである。はじめたばかりの人も、ずっとやっているベテランも同じポーズをする。もちろん気、やさしさ、やわらかさ、柔軟さ、いまは積極的、明るく行動的。ヨーガは、心と体のストレッチ。あなたを変える。あっ美人にもする。

会員は九名。ヨーガをはじめた理由を聞いてみた。「肩こりがなくなった」「シェイプアップ」「健康のため、友達にムリヤリ？」「なぜ動機はそれぞれ。そして、ヨーガを続けるのは、これからどんな人生を生きるのか。現状維持できるか、何もしないでいるんとではいろいろ。

六十歳になった時、絶対に差がついているとい。ヨーガのよいところは、

一生きていけませんよ。文部省の西元前事務次官の収賄罪、官房ルート、NTTルートそして政界へ・竹下さんがリクルートから一億円もらったり、安倍天八に

おしゃべり談話室

「金魚は絶対！」

拝啓、おしゃべりじゃ～なる機、この間のオバタリアンを読んで、思わず笑ってしまいました。確かにこんなオバサンいますよね。私も気をつけなくちゃ。でもちょっと頭に来ることもあるんです。どうしてオバサンばかりがヤリ玉に上がるのかしら。変なオジサンだって、いっぱいいると思いませんか？

短い足をスパッとひろげて座席に座るオジサン。回りの迷惑顧みず、電車の中でスポーツ新聞を広げて見るオジサン。靴下のゴムが緩んでなるんでいるオジサン。その上、ズボン下が見えている。若い女のおだてに弱い。そのネクタイ素敵・なんて いわれたら毎日する。ツバ・タンを辺り構わず吐く。女はエッチな話をすれば喜ぶと思っている。カラオケといえば演歌ばっかり。書きだせばキリならないオジサンの行動。その究極はよっぱらいシールを貼られたオジサン。今度は是非、『オジタリアン度チェック』をやってください。

（桜町・主婦・三十八歳）

おまかせください。しかし、オバタリアンに引き続いてじゃ、ひんしゅくを買いません？

「払って悔しい」消費税

自慢じゃないけどテレビ・ビデオを持っている。ビデオ・ビデオ・ビデオ・

★第一回おしゃべりカルチャー

鳩ケ谷の歴史散歩

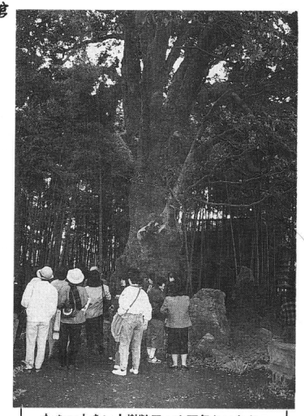
桜・満開、花冷えの四月五日（水）、第一回の『おしゃべりカルチャー』を開催しました。講師に郷土資料館の大沢先生をお願いし、当日の参加者は一二五人、鳩ケ谷の町並を歩きながら古ウオッチング！

再建された地蔵院

放火で多くの文化財を焼失した地蔵院ですが、このほど立派な本堂が完成しました。手を回しても回しきれない程の大きなけやきの丸柱、本葺きの屋根に二万枚以上の瓦、畳一畳分もあるといわれる鬼瓦や豪壮らしい木造建造物です。

残念ながら県指定文化財の不動明王立像は県博物館に保管されているので、現在はここにはありませんが、是非見ておきたいのが天然記念物のタブノキ。樹齢五・六百年の大木です。そばの竹林には全滅したといわれる程の大きなけやきの丸柱、本葺きの屋根に二万枚以上の瓦、畳一畳分もあるといわれる鬼瓦や豪壮らしい木造建造物です。

案内図を片手に地蔵院境内を見学。左のお地蔵さまが縁切り地蔵



わぁ～大きい！樹齢五・六百年といわれる天然記念物のタブノキの大木（地蔵院）

おどろきと出会い

住む町の歴史を知ろう

資料館にはこんなにたくさんの資料が

江戸時代の社会教育者で一宮尊徳に影響を与えた小谷三志のお墓は二つの自然石を重ねただけの質素なもの。「エッ、これが三志のお墓？」「三志って、何をした人なの」。地元の史跡なのにどれもこれも初めて見たり、聞いたりするものばかり。みんなの案内書を見る目は真剣そのもの。満開の桜も小室庄蔵のお話やユーモアたっぷりの大沢先生の説明に彩りを添え新鮮な驚きと発見がありました。

二つの大きな石を重ねただけの質素なもの

小谷三志のお墓（地蔵院）

ところで春日局で有名な川越・喜多院にある、ぼんぼり（国重文）は実は地蔵院のものだったという説があるのを一存じですか。先生の話は「返して！」と直訴した勇気？ある人もいたとか。

市立郷土資料館

鎌倉道を通って、日光御成道の説明を聞きながら、郷土資料館に到着。身近にありながら案外見学したことがないという人が多いのです。一時間程、大沢先生に現代に至るまでの鳩ケ谷の歴史の概略について「歴史講座」を開いて頂きました。

大沢先生の説明を熱心に聞く参加者のみなさん（資料館の展示室で）

そのあと鳩ケ谷が生んだ洋画彫刻の開拓者、大熊氏広や小谷三志の展示物を見学。「大村益次郎の銅像や東京国立博物館表慶館車寄せ左右のライオン像など」この郷土資料館に到着。身近にありながら案外見学したことがないという人が多いのです。一時間程、大沢先生に現代に至るまでの鳩ケ谷の歴史の概略について「歴史講座」を開いて頂きました。